

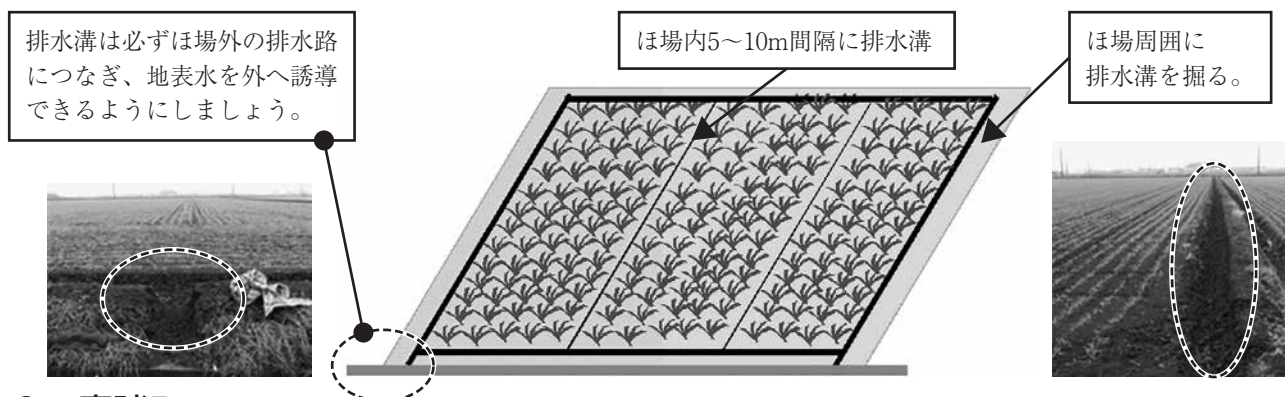
<麦類の栽培ポイント>

1 湿害対策の徹底

麦は播種期・生育期・登熟期の全栽培期間を通して湿害を受けやすい作物です。

安定した収量・品質確保のために排水対策を徹底しましょう。

- 排水溝の設置は早いほど効果的です。まだ設置していない場合は、圃場の周囲に排水溝を設置します。
- 排水性が悪い場合は、圃場内にも5～10m間隔で排水溝を設置します。
- 排水口は排水溝よりも低く掘り下げて圃場外の排水路につなぎます。
- 時々排水溝を点検し、必要に応じて溝さらいを行いましょう。



2 麦踏み

- 12月中に麦の3葉目が伸びてきたら1回目の麦踏みをしましょう。
生育が遅れている場合は無理に踏まず、3葉目が出てきたのを確認してから実施します。
- 麦踏みは年内1回、年明け～茎立期直前2回以上が目安です。
麦踏みの間隔は10日から2週間程度あけるようにします。
- 気象庁の3か月予報（2023年10月24日発表）によると、向こう3か月の平均気温は「高い」確率が50%と予想されています。軟弱徒長を防ぐため、茎立期直前までしっかり麦踏みをしましょう。
※土壌水分が高いときの麦踏みは土が締まり湿害による根傷みを起こし、生育不良に繋がります。土を手で握り、湿った状態であれば無理な麦踏みは避け、圃場が乾いてから麦踏みをしましょう。

麦踏みの効果 →

- ①分げつを進める
- ②根張りを良くし、耐寒性をつける
- ③霜柱などによる凍上害防止
- ④暖冬時、早すぎる茎立ちを抑える
- ⑤穂ぞろいを良くする

3 雑草防除

昨年産は、調製時にカラスノエンドウやヤエムグラなどの種子が見られました。

●カラスノエンドウ

出芽深度（出芽した芽の深さ）が深く、出芽も長い期間続くため、土壌処理剤だけでは十分な効果が期待できません。

また、種子が麦と同じくらいの大きさで篩分けがしづらいです。

バサグラン液剤（成分：ペンタゾン）は効果があります。



(裏面あり)

●ヤエムグラ

カラスノエンドウと同じく出芽深度が深く、出芽も長い期間続くため、
土壌処理剤だけでは十分な効果が期待できません。

収穫期に残草が多いと**麦の倒伏を引き起こし、品質低下の原因**になり
機械に絡みつくことで、作業性低下の原因になります。

エコパートフロアブル(成分:ピラフルフェンエチル)は効果があります。

また、圃場で以下の雑草が見られました。



●スズメノテッポウ

播種後比較的短い期間に出芽盛期があるため、初期防除が重要となります。
播種前に出芽した個体が残ると大量の種子を落とし、次年度の発生源になります。

ハーモニー(成分:チフェンスルフロメチル)は効果があります。

※抵抗性スズメノテッポウが認められる圃場では、ボクサー等

(成分:プロスルホカルブ)を雑草発生前に使用しましょう。



●スズメノカタビラ

秋にスズメノテッポウよりやや遅れて出芽し、冬作の作付前に繁茂します。
出芽深度が浅く、根の発達が遅いため、大部分の土壌処理剤は効果
があります。結実が早いことから、結実前の防除が必要です。

★麦の発芽後に雑草の発生が目立つ場合は、下表を参考に除草剤を散布しましょう。

雑草名等	除草剤	使用時期	使用回数	
一年生雑草	ボクサー	大麦 播種後～麦 2 葉期 (雑草発生前～発生始期) 小麦 播種後～麦 4 葉期 (雑草発生前～発生始期)	2 回以内	
	リベレーターフロアブル	播種後～麦3葉期 (雑草発生前～イネ科雑草1葉期まで)	1 回	どちらかを使用
	リベレーターG	播種後～麦 2 葉期まで (雑草発生前～イネ科雑草 1 葉期まで)		
一年生雑草 (イネ科を除く)	バサグラン液剤	大麦 生育期但し収穫90日前まで 小麦 生育期但し収穫45日前まで	1 回	
一年生広葉雑草、 スズメノテッポウ	ハーモニー細粒剤 F	播種後～麦3葉期 (雑草発生前～発生始期)	1 回	どれかを使用
	ハーモニーD F	播種後～節間伸長前		
一年生広葉雑草	ハーモニーD F	小麦 節間伸長開始期～穂ばらみ期 但し、収穫45日前まで	2 回以内	
	エコパートフロアブル	大麦 節間伸長開始期まで (広葉雑草2～4葉期) 但し、収穫45日前まで 小麦 節間伸長開始期まで (広葉雑草2～4葉期、ヤエムグラ2～6節期) 但し、収穫45日前まで		

※令和5年11月8日現在の登録内容

※ボクサー・リベレーターフロアブル・リベレーターGは抵抗性スズメノテッポウに効果を発揮します。

※除草剤(農薬)を使用する時は、ラベルの表示を確認して正しく使用してください。

※麦の生育期に茎葉処理剤を使用する場合、雑草の生育が進むと効果が劣るので注意しましょう。